



梅沢 政隆
リポーター



大久保勝男
リポーター



遠藤 千春
リポーター

除雪機を整備

住みよいまちづくり

1月19日



通学路や高齢者
世帯の除雪を行います



幸町町内会は、(一財)自治総合センターが実施する宝くじの助成制度を活用し、除雪機を整備しました。

この制度は、宝くじの普及広報活動費を活用し、地域団体が行う活動を支援するものです。宝くじは、地域のさまざまな活動に役立てられます。

試行錯誤を重ね完成

久慈工業高等学校フィギュアを寄贈

1月19日



試行錯誤を重ね上げたフィギュアを贈呈する生徒ら

久慈工業高等学校電子機械科の3年生は、課題研究の時間に3Dプリンタを活用して製作したハウレンソウの妖精「緑のダイヤちゃん」フィギュアを市に贈呈しました。

市では着色を行い、農協関係施設や公共施設に配置し、ハウレンソウのPR活動に役立てていきます。

プロの迫力を目の前で

市で3年ぶりの試合

1月15・16日



スリーポイントシュートを打つ仁平選手

市民体育館で、バスケットボールBリーグ3部の岩手ビックブルズとシながわシティバスケットボールクラブが対戦。ビックブルズは見事連勝。11月に大川目保育園を訪れた伊藤良太選手は「バスケを通じて影響を与えられるようなチームを作っていきたい」と思いを語りました。

これからも活動を続けます

久喜海づくり少年団教育長表敬訪問

1月19日



賞状を掲げる久喜小学校6年生の児童ら

令和3年11月3日に緑綬褒章を受章した久喜海づくり少年団の久喜小学校6年の4人が、教育長を表敬訪問。児童会長の坂本梨愛さんは「今まで続けてきたことが表彰されてうれしいです。これからもクリーン活動を通して海をきれいにしていきます」と笑顔で報告しました。

宇部川をきれいに

宇部川の水生物調査

1月18日



継続的に調査したことが評価されました

宇部小学校で長年実施している「水生物による水質調査」が評価され、県から知事感謝状が贈られました。児童会長の滝澤里菜さんは「宇部川がこれからもきれいな川であり続けるように、自分たちでできることを考えて行動していきたいです」と意気込みを述べました。

楽しい発表会を開催

夏井町シニア軍団ダンスを披露

2月6日



無観客のホールで軽快な曲目に合わせたダンスを披露

「市民生涯学習のつどい」の合同発表が中止に。出演予定の夏井町シニア軍団のメンバー30名が「このままやめてしまうのはもったいない」と奮起。無観客の夏井市民センターで、本番の衣装を身につけダンスを踊り、達成感に自らに盛大な拍手を送っていました。(梅沢)



1/ 鮭の雄と雌の見分け方を学習する大川目小学校の生徒ら 2/ 短角牛の給食をこぼさないように運びます 3/ 湊小学校では短角牛生産者の中屋敷さんから説明を受けた後に一緒に会食 4/ 来内小学校の生徒は「みどりのダイヤちゃん」と一緒に記念撮影 5/ シイタケの説明を受ける平山小学校の生徒ら

B & Gをリニューアル

久慈市山形B & G海洋センター改修工事

1月23日



テープカットを行う関係者ら

市は、市山形B & G海洋センターの屋根やポーチなどを、B & G財団の助成事業を活用して改修しました。この日は、同センターで記念式典が行われ、同財団の菅原悟志理事長が「海洋センターを利用して、健康で楽しい毎日を過ごしてほしい」と思いを述べました。

卓球バレーで楽しく交流

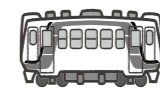
卓球バレー体験教室

1月26日



得点に手をたたいて大よこびの参加者ら

小久慈市民センターで卓球バレー教室が行われ、地域の高齢者など10人が参加しました。初めて経験する参加者が多く、市体育協会の久慈順子さん指導で楽しい準備運動で体をほぐし卓球バレーに挑戦。得点が入るたび笑い声や歓声が響き大いに盛り上がりました(大久保)



まちのわだい

久慈産のおいしい給食

地産地消ふれあい給食

11月~2月

市は、地元の食材を知ってもらおうと11月から2月にかけて、地産食材の鮭・短角牛・ハウレンソウ・シイタケを使った「地産地消ふれあい給食」を実施しました。実施日には、各食材の生産に携わる人や食生活改善推進員が市内の小中学校を訪問し、地産地消は地元の新鮮な食材を安心して食べられること、食べ物を輸送する燃料がかからずSDGsにもつながることなどを説明。児童らは、真剣な表情で説明を聞き、積極的に質問をするなど、食材を通して地域の農林水産業の知識も深めました。

学習後は、待ちに待った給食の時間。おいしく味わったあとは、食に携わる人に感謝をし「ごちそうさまでした」と手を合わせました。

地域の食をオンラインで紹介

JENESYS2021 日アセアン・東ティモール交流

1月28日



解説をしながら、そば打ちを生配信

外務省主催の対日理解促進交流プログラムの一環で、ASEAN諸国や東ティモールの大学生らとのオンライン交流が行われました。市内の7軒の民泊家庭をつなぎ、囲炉裏で焼く豆腐田楽やそば打ちなど郷土の食文化を配信。互いの食文化を通して交流を深めました。

自然と向き合った4日間

バッテリーキャンプ冬の陣2022

1月8日~11日



スノーシューを装着し、遠島山荘を目指す参加者たち

市と久慈市ふるさと体験学習協会は、2年ぶりにバッテリーキャンプを開催しました。市内と県外の小学校3年生~6年生6人が参加。グループで活動内容を話し合い、雪遊びや遠島山荘への遠征など、冬ならではの自然体験を通して、仲間と絆を深めました。



小渡 正利
リポーター



森岩 航
リポーター